

日本天文学会 2023年春季年会のお知らせ

2023年春季年会は、2023年3月13日（月）から3月16日（木）までの4日間、立教大学池袋キャンパス（東京都豊島区）で予定しております。また、遠隔地から聴講していただけるようにオンライン配信を行う予定です。参加方法の詳細については、年会ホームページで随時お知らせいたしますので、注視していただくようお願いいたします (<https://www.asj.or.jp/jp/activities/nenkai/>)。

新型コロナウイルス感染症への対策について

開催地の皆様と協力し、消毒・換気を徹底するなど、拡大防止に最大限努めます。ご来場の皆様には、以下についてご協力をお願いいたします。

- ・事前参加申込をお願いします。詳細は年会ホームページでお知らせいたします。事前申込することなく、当日参加することはお控えください。
- ・入場時に検温を実施いたします。事前にご自身でも検温いただき、発熱や体調不良の場合は来場をご遠慮ください。また発熱が判明した場合、入場をお断りいたします。オンライン参加に切り替えてください。
- ・入場不可となった場合でも、参加費の払い戻しは出来かねます。ご了承ください。
- ・各部屋には入室定員を設ける予定です。満室になった場合、別室にてオンライン参加をお願いする場合がございます。ご了承ください。
- ・昼食等の飲食は、構内および近隣の食堂・コンビニ等をご利用ください。
- ・コロナ禍におけるイベント開催のため、必要に応じて来場者リストを開催地側に提出します。予めご承知おきください。
- ・現地開催を目指しております。12月末を目途に、現地開催の準備を継続できるかどうか判断します。

(1) 年会参加費、講演登録費、および年会予稿集代について

会費と年会参加関連費のバランスを考慮し年会事業収支を健全化する目的で、2022年度以降の会費とともに、2022年秋季年会以降の年会参加関連費が改定されています。ご注意ください。

・料金表

項目	会 員	非会員	備考
参 加 費	正会員学生：2,000円（不課税） 正会員一般：5,000円（不課税） 準 会 員：5,000円（不課税）	5,000円（消費税込み）	参加申込が必要です
講演登録費	2,000円（不課税）	5,000円（消費税込み・企画セッションのみ）	1講演につき。一緒に参加費の支払も必要です
講演予稿集	2,000円（消費税込み）	2,000円（消費税込み）	

※クレジットカード会社、金融機関の利用明細をもって、本学会の領収書とさせていただきます。

※支払期間内に必ずお支払いください。

※事前にお支払いがない場合、銀行振込にて1,000円を足して講演登録費をお支払いください。

※お支払いいただいた参加費・講演登録費は、原則として返金いたしません。

※参加申込について

後日お知らせするWebフォーム上で行っていただきます。講演者の方も、講演登録費に加えて参加情

報のご入力、参加費のお支払いが必要です。必要な情報のご入力やお支払いがない場合には、講演が取消になる場合がございますのでご注意ください。

※参加方法について

リモートからの参加形態は開催地理事を交えて検討中です。講演を希望される方は、現地で講演していただく前提で講演をお申込み下さい。

※参加証明について

現地参加の場合：当日受付でお渡しする名札で、年会の参加証明といたします。

オンライン参加の場合：参加申込時にお申し込みください（必要な方のみ）。年会終了後に証明書をメールで送付いたします。なお講演証明書については年会終了後にアナウンスいたします。

※講演予稿集について

年間購読され、会費と一緒に料金を支払われている方には事前にお送りします。

それ以外の方で講演予稿集が必要な方は、金額に2,000円を足してお支払いください。郵送いたします。

※非会員の方の参加（企画セッションを除く）は、年会実行委員会の承認が必要になります。委員会の判断により、ご希望に添えない場合もありますので予めご了承ください。また、ご希望に添えない場合はこちらからご連絡いたします。

・支払期間

講演登録費：2022年11月29日（火）正午～12月13日（火）正午

参加費：2022年1月10日（火）正午～2月28日（火）正午

※感染症拡大防止のため、現地での精算は行いません。予めご了承ください。

※講演者の方は、講演登録費の支払期間に参加費を一緒にお支払ください。

・支払方法

●原則クレジットカード支払です。

※講演申込時の決済ページのURLは自動返信メールに記載されています。

※支払期間中に必ず手続きを済ませてください。

※クレジットカード決済代行サービスを利用しております。

※取り扱いカードは、VISA, MasterCard, JCB, AMEX, DINERSの5種類です。

※クレジットカード支払が困難な方は、支払期間内に銀行振込、現金書留でお支払いください。

●銀行振込

銀行名：三菱UFJ銀行

支店名：三鷹支店

口座番号：普通4434400

口座名義：シャダンハウジンニホンテンモンガツカイ

※振込人の名前の前に、会員番号（入会申請中の方は入会申請受付番号）をお書きください。

(2) 受付期間

2016年秋季年会より、通常セッションにおける講演は会員（正会員・準会員）に限られております。非会員の方は、企画セッションでの講演を除いて、講演申込の前に学会への入会申請をする必要があります。詳しくは年会ホームページをご参照ください。

事 項	受付期間・期限（日本標準時）	関連項目
講演申込（電子メール）	2022年11月29日（火）正午～12月6日（火）正午	(3), (4), (5) 参照
講演登録費支払期間	2022年11月29日（火）正午～12月13日（火）正午	(1) 参照
参加申込（Webフォーム）	2023年1月10日（火）正午～2023年2月28日（火）正午	(1) 参照
参加費支払期間	2023年1月10日（火）正午～2023年2月28日（火）正午	(1) 参照
複数講演の順序指定	2022年12月13日（火）正午まで	(6) 参照
ポストデッドライン・ペーパー	2023年2月28日（火）正午まで	(7) 参照
最新情報コーナー	今回は募集しません	(8) 参照
講演の変更など	わかった時点で直ちにご連絡ください	(9) 参照
特別セッションの企画 招待講演・特別講演の講演者推薦	2022年11月29日（火）正午まで	(10) 参照
正会員用展示ブース	2022年11月29日（火）正午まで	(11) 参照
旅費一部補助	2022年12月6日（火）正午まで	(12) 参照
各種の会合申込	今回は募集しません	(13) 参照
保育室の利用申込	2023年2月14日（火）正午まで	(14) 参照
懇親会の申込	今回は開催しません	(15) 参照

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、完全オンライン開催となる可能性があります。講演申込の開始前に決定した場合のみ、参加費が変更になる可能性がございます。別途アナウンスいたしますのでご注意ください。

(3) 分野と「企画セッション」

- ・講演分野は次の16分野です。

M. 太陽, N. 恒星・恒星進化, P1. 星・惑星形成（星形成）, P2. 星・惑星形成（原始惑星系円盤）, P3. 星・惑星形成（惑星系）, Q. 星間現象, R. 銀河, S. 活動銀河核, T. 銀河団, U. 宇宙論, V1. 観測機器（電波）, V2. 観測機器（光赤外・重力波・その他）, V3. 観測機器（X線・ γ 線）, W. コンパクト天体, X. 銀河形成・進化, Y. 天文教育・広報普及・その他

- ・「企画セッション」は次の1件です。○印は世話人代表者です。

Z1. 「ALMA サーベイ観測による星・円盤・惑星系形成研究の進展」(略称: ALMA サーベイ)

世話人: ○大橋永芳 (ASIAA), 相川祐理 (東京大学), 坂井南美 (理化学研究所), 富田賢吾 (東北大学)

- ・企画セッションは、世話人から依頼される講演と通常の講演、議論の時間などから構成され、その割り振りは世話人が決めます。講演者は世話人に対して講演申込みを行います。tennetなどに流れる世話人からのアナウンスに注意し、講演申込みに際しては世話人からの指示に従ってください。なお、講演登録費をお支払いの際には、世話人が全ての講演を投稿した後に、世話人から届く受付番号が必要となります。

(4) 講演の形式

- ・ a 口頭講演（9分間の口頭発表と3分間の質疑応答）; b ポスター講演・口頭発表付き（ポスターと3分間の口頭発表）; c ポスター講演・口頭発表なし（ポスターのみ） の3種類を予定しています。講演

時間は、講演数によって変更することがあります。現時点ではオンライン参加の詳細が確定していないため、講演は現地で行っていただくことを想定しています。詳細が決まり次第ご案内いたします。Zoomによる講演の配信を予定しています。またポスターは現地会場で掲示するとともにWeb上でも公開し、Slackなどの交流の場を用意する予定です。実施方法の詳細は年会ホームページに掲載するので、注視していただくようお願いいたします (<https://www.asj.or.jp/jp/activities/nenkai/>)。)

- ・講演者1人あたり可能な講演数は最大3件です。また、a講演は1人1講演までで、3件目の講演はc講演（ポスターのみ）に限ります。

(5) 講演の申込方法（電子メール）

- ・年会ホームページに掲載します。説明をよく読んで申込を行ってください。
 - ※郵送による申込は受け付けておりません。
 - ※締め切りは2022年12月6日（火）12:00 JSTを厳守してください。この締め切り日時を過ぎた申請は原則として一切受け付けません。また、締め切り当日のトラブルには対応できない場合もありますので、できるだけ締め切り前日の夕方までに投稿されることをお勧めします。
 - ※講演は完成度の高いものに限ります。予稿の紙面を有効利用してください。予稿集は広範な読者が読むことを想定し、(i) 十分な背景説明を行うこと、(ii) 研究内容や結果・考察について具体的記述を含めること、の2点を心がけてください。これらに留意すれば、大抵は10行以上の予稿になるはずですが、以上のような配慮に欠ける極端に短い予稿など不適切な講演申込は、受理しない場合があります。
 - ※年間予約をいただいている予稿集は事前配布となっており、2023年2月20日付で発行する予定です。年会ホームページでも発行と同時に内容が公開されます。公開後は講演の内容がメディアによって紹介されることもありえます。出版前の論文、特許に関係した論文等の講演をする際には、十分ご注意ください。
 - ※講演者は必ずしも筆頭著者でなくても結構です。講演登録費はこの講演者が支払ってください。
 - ※講演予稿の「キーワード」は、Y分野以外は、下記のPASJ Keyword listを使用いただきますようお願いいたします。
https://academic.oup.com/pasj/pages/Pasj_Keywords

(6) 複数講演の順序指定

- ・グループ等で複数の講演を指定した順序で続けたい場合は、申込後、期限内に下記1, 2を明記し、年会実行委員会宛にご連絡ください。
 1. 受付番号（分野、発表形式を含む番号）、2. 講演者名
- ・講演日時に関する要望は一切受け付けられません。
- ・b講演は2時間のセッションの最後にスケジュールする予定です。順序指定にa講演とb講演が含まれる場合は、b講演を最後に並べてください。ご希望に添えない場合もありますのでご承知おきください。

(7) ポストデッドライン・ペーパー（PDL）

- ・PDLは、緊急性・トピックス性に富んだ内容について、通常の講演申込のメド切後にも講演を受け付ける制度です。約半年後の次の年会まで待つことができない明確な理由（個人・グループの事情は不可）

が必要です。

- ・申請される場合は上記の理由を明記の上、年会実行委員会までお問い合わせください。申請いただいた内容は年会実行委員会で審査し、受理の可否を判断いたします。なお、通常の申込よりも受理の基準がかなり厳しくなります。
- ・PDLの講演形式は、原則、c ポスター講演・口頭発表なし（ポスターのみ）になります。ただし、プログラムに余裕がある場合は、b ポスター講演・口頭発表付き（ポスターと3分間の口頭発表）も可能です。希望する形式を記入してください。
- ・PDLの受付期間を過ぎた後の申請については、年会実行委員会にご相談ください。
- ・日本天文学会年会における発表は、PDLも含め天文学会員に限られているため、非会員の方は天文学会員になる必要があります。PDLの審査に加え、会員になる手続きにも時間を要しますので、PDL申請を考えている非会員の方は、まず年会実行委員会にお問い合わせください。

(8) 最新情報コーナー

- ・今回は設置しません。

(9) 講演のキャンセルや変更

- ・申し込んだ講演については、年会実行委員会の承認なくキャンセルすることはもちろん、登壇者、講演題名、講演著者、講演内容も変更することはできません。
- ・やむをえず講演をキャンセルしたり、登壇者を変更したりする場合は、共著者の承諾を得た上で、年会実行委員会にて承認の手続きが必要になります。キャンセルや変更を希望する理由を添えて、原則講演者（登壇予定の方）が速やかに年会実行委員会まで連絡してください。ただし、キャンセルは極力避け、可能な限り代理登壇者を立ててください。なお代理登壇者は原則学会員（正会員・準会員）とします。会期中、直前の申し出は承認できない場合があります。
- ・講演申込後に講演をキャンセル等しても、講演登録費および参加費の返金はいりません。
- ・講演の申込時に、筆頭著者と講演者を別にすることはできます。筆頭著者は「講演予稿集」の講演者リストの先頭に記され、申込時の講演者（登壇者）は「年会プログラム」で確認することができます。

(10) 特別セッション・特別講演・招待講演

- ・多くの会員が関心を持つ話題について、特別セッションを開くことができます。原則として同時に他のセッション等を行いません。また、多くの会員が興味を持つテーマについて講師を依頼する「特別講演」や「招待講演」も時間が確保できれば行います。これらについては、年会実行委員会にご相談ください。

(11) 正会員用展示ブース

- ・正会員用の展示ブースのスペースを設けます。展示を希望される場合は、ブース名・趣旨・世話人（正会員3名以上）を記載して、期日までに年会実行委員会までお申込ください。面積は1区画2×2m～3×3m（開催地の事情により異なる）、展示費は50,000円となります。完全オンライン開催となった場合は中止となりますので、予めご了承ください。
- ・賛助会員の皆様への展示案内は、別途郵送いたします。

(12) 旅費一部補助

- ・日本天文学会では、正会員（学生）に年会出席旅費（交通費）の一部補助を行っております。希望者は、年会のWebページhttps://www.asj.or.jp/jp/activities/expenses/travel_grant/をご覧ください。

(13) 年会時の各種会合

- ・募集しません。

(14) 年会会期中の保育室

- ・保育室を設置する予定です。詳細は年会のWebページに掲載します。不明な点は年会実行委員（保育室担当）へe-mail（nenkai-hoiku@asj.or.jp）でお問い合わせください。

(15) 懇親会

- ・開催しません。

(16) 連絡先

◆年会実行委員会 e-mail: nenkai-committee@asj.or.jp

委員長 古澤久徳（年会実行理事・国立天文台）

電話：0422-34-3562

年会係 田口谷怜奈（日本天文学会）

〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 日本天文学会年会係

電話：0422-31-5488 FAX: 0422-31-5487 e-mail: nenkai@asj.or.jp

◆開催地組織委員会 e-mail: rikkyo-asj-info@rikkyo.ac.jp

ホームページURL： <http://s.rikkyo.ac.jp/tenmon2023sp>

委員長 北本俊二（年会開催地理事・立教大学）

〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1 立教大学理学部13号館6階C613

電話：03-3985-2419 FAX: 03-3985-2418

年会開催期間（2023年3月13日～16日）の連絡先は、プログラムおよび予稿集に掲載します。

年会ホームページ： <https://www.asj.or.jp/jp/activities/nenkai/>

古澤久徳（年会実行委員長）